

作成年月日: 2021年9月15日 第1.0版

臨床研究に関するお知らせ

久留米大学では、宮崎大学で実施される下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を当院の病院長の許可を得て実施研究機関に提供しています。

なお、下記研究は宮崎大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当院の当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】クッシング症候群の新規補助診断法に関する検証研究

【研究代表機関及び当院の情報管理責任者】

研究代表機関（研究代表者）:

宮崎大学医学部 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 山口秀樹

当院の情報管理責任者:

久留米大学医学部内科学講座 内分泌代謝内科部門 野村 政壽

当院の情報管理者:

久留米大学医学部内科学講座 内分泌代謝内科部門 蘆田健二

試料・診療情報等の提供先: 宮崎大学医学部 血液・糖尿病・内分泌内科

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間: 西暦2005年1月から西暦2021年12月までの間に受診
- 2) 受診科: 久留米大学病院内分泌代謝内科および関連する各診療科
- 3) 対象疾患名: クッシング症候群・サブクリニカルクッシング症候群および副腎腫瘍と診断された方

【試料・診療情報等の項目】

診療情報等: 【病歴、診断名、年齢、性別、入院・検査日、既往歴、血液検査・尿検査結果、CT画像】

授受の方法: ☒ 郵送・宅配 ☐ 電子的配信 ☐ 直接手渡し ☐ その他 ()

【研究の目的】

この研究は、腹部CT 検査を用いたクッシング症候群の新規補助診断法の確立を目的としています。

【研究の概要】

クッシング症候群は副腎皮質ステロイドホルモンの一つであるコルチゾールが過剰分泌される病気です。高コルチゾール血症は心臓病などの致命的疾患の発症と関連があり、適切な診断と治療が重要となります。クッシング症候群の診断は、身体診察やホルモン検査などから慢性的なコルチゾールの分泌過剰を確認することで確定されます。しかし高齢者、糖尿病、肥満やうつ状態では診断が難しいことが知られています。今回、クッシング症候群の新たな補助診断法を確立するために、この研究を実施しています。

【研究（利用）期間】

研究実施許可日から西暦2022年7月まで

【利益相反に関する事項】

本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

【問い合わせ先】

（本学）情報提供責任者：久留米大学医学部内科学講座内分泌代謝内科部門
蘆田健二

電話: 0942-31-7563

E-mail: ashida@med.kurume-u.ac.jp

研究代表機関（研究代表者）：宮崎大学医学部 血液・糖尿病・内分泌内科学分野
山口秀樹

電話: 0985-85-9121

E-mail: yamahide@med.miyazaki-u.ac.jp